

各 位



平成30年4月20日

MBL

会社名 株式会社 医学生物学研究所
代表者名 代表取締役社長 山田 公政
(JASDAQ・コード4557)
問合せ先 取締役管理統括本部長 中井 邦彦
電話番号 052-238-1901

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年1月30日に公表した平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

平成30年3月期通期業績予想の修正について

(1) 平成30年3月期連結業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------------|-----------|------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 7,100 | 百万円 50 | 百万円 △20 | 百万円 △100 | 円 銭 △19.34 |
| 今回修正予想（B） | 7,072 | 120 | 11 | △59 | △11.49 |
| 増減額（B－A） | △27 | 70 | 31 | 40 | |
| 増減率（％） | △0.4 | 141.8 | － | － | |
| （ご参考）前期実績 （平成29年3月期） | 7,348 | 85 | 64 | 188 | 36.50 |

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結業績予想修正の理由

売上高は、個別業績の売上高が前回予想をやや下回るものの、中国子会社の業績が好調であったことから、概ね予想の範囲で推移する見通しです。

営業利益は、個別業績で売上高が下回るものの経費抑制などの効果より、前回発表予想を70百万円上回る1億20百万円となる見通しです。

経常利益は、当初想定したよりも円高が進行したことに伴い為替差損*が膨らんだものの、営業利益の改善に加え、米国の持分法適用関連会社の業績が改善し持分法による投資損失がより縮小することから、前回発表予想を31百万円上回る11百万円となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表の拠点集約に伴う原状回復費用や固定資産の除却の特別損失を計上*したものの、上記の理由から、前回発表予想より40百万円改善し、59百万円の損失となる見通しです。

※本日公表の「営業外損失（為替差損）及び特別損失計上に関するお知らせ」をご参照ください。

(3) 平成30年3月期個別業績予想の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------------|----------|------------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 6,268 | 百万円 0 | 百万円 △40 | 円 銭 △7.74 |
| 今回修正予想（B） | 6,158 | 3 | △47 | △9.16 |
| 増減額（B－A） | △109 | 3 | △7 | |
| 増減率（％） | △1.7 | － | － | |
| （ご参考）前期実績 （平成29年3月期） | 6,174 | 172 | 175 | 33.86 |

（注）当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(4) 個別業績予想修正の理由

売上高は、当初計画していた導出案件が成約できなかったことなどから、前回発表予想を1億9百万円下回る61億58百万円となる見通しです。

経常利益は、当初想定したよりも円高が進行したことに伴い為替差損が前回予想時よりも膨らんだものの、経費抑制などの効果により、前回発表予想を3百万円上回る3百万円となる見通しです。

当期純利益は、前回発表予想を7百万円下回る47百万円の損失となる見通しです。

※本資料に掲載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上